



営農サポート通信 第26号

平成26年3月 JA都城：営農サポーター（TAC）



Tとことん、A会って、Cコミュニケーション!!

花の蕾も膨らむような、暖かい陽気が多くなってきました。それに伴い農繁期に入って行き、各種作目の種蒔き、植え付け準備が忙しくなってきたと思います。

営農サポーターも新体制になり、担当支所の変更もありましたので紹介致します。

定期異動に伴う担当支所変更について

平成26年度の定期異動により、営農サポーターを3年間勤めた猪俣審査役が異動となり、グリーンセンター朝霧より柿木職員が新しく赴任しました。

《露地園芸農家巡回班》

- 吉川 祥一郎（2年目） 沖水、志和池、高城、高崎担当
- 横山 憲明（3年目） 五十市、庄内、西岳、山田担当
- 松原 清司（2年目） 姫城、祝吉、安久、梅北、三股、山之口担当

《グリーンセンター対策班》

- 坂元 大輔（2年目） 姫城、安久、梅北担当
- 柿木 新吾（1年目） 祝吉、沖水担当

以上のメンバーで各担当支所のお客様を巡回、訪問させて頂きます。皆様のご意見、ご要望に応えられるよう努力して行きますので宜しくお願い致します。

馬鈴薯防除計画

○ 3月下旬～4月上旬

ダコニール 1000
+
オルトラン水和剤又はアドマイヤー水和剤



○ 4月上旬

ジマンダイセン水和剤
+
Zボルドー

農薬名	希釈倍数	適用病害虫名
ダコニール 1000（予防）	500倍～1000倍	疫病・夏疫病 ※ 発病前から定期的に予防散布 ※ 作目の葉裏にも散布
ジマンダイセン水和剤（予防）	400倍～600倍	疫病・夏疫病
Zボルドー（予防）	400倍	軟腐病・疫病
オルトラン水和剤	1,000倍～1,500倍	ヨトウムシ・テントウムシダマシ幼虫 アブラムシ類・ジャガイモガ
アドマイヤー水和剤	1,000倍～3,000倍	アブラムシ類

焼酎原料甘藷について

平成25年度が豊作であった為、平成26年度へ在庫として約7,500t繰越されることとなります。そのため、平成26年度につきましては前年以上の契約はできない状況にあります。特にコガネセンガンにおいては下記のとおり前年度の契約面積を大幅に超えている為、面積の調整が必要となっております。

平成26年度甘藷	作付希望面積（1月31日現在）	前年度契約面積
コガネセンガン	518.2ha	459.6ha

富士早生里芋

3月中旬から下旬にかけて、植え付けの時期となります。注意点をご確認ください。
（畦立て・マルチ） 植え付け2週間程度前までの降雨後に、水分がある状態でマルチを張り、植え付けまでに地温15℃以上を確保しましょう。

（種芋の準備） 1個50g以上の大きさの揃ったものを10a当たり100～120kg準備し、芽つぶれ・浮皮・乾腐病・黒斑病・コガネムシ・センチュウ等被害がない健全な種芋を使用して下さい。

自家種子を用いる場合は、上記の病害虫被害がない圃場から収穫したものをを用いて下さい。毎年1/3程度は種芋の更新を行いましょう。

（種子消毒）

トップジンM水和剤（黒斑病対策）	パダンSG水溶剤（ネグサレセンチュウ対策）
希釈倍率200～500倍	希釈倍率300倍

※ 混用して使用 20～30分浸漬して下さい。 ※

焼酎原料甘藷植付けの時期が近づいてきました!!

昨年紹介し特に反響が有りました。復習を兼ね再度紹介します。

◆甘藷苗床の追肥 /ルチッソ/（硝酸カルシウム）20kg入り

※明確な施肥基準は有りません。使用事例として50mの単棟ハウスに10kg程度散布し十分に灌水を行う。（2週間又は、2回の採苗おきに施肥）



大型規格除草剤情報

少しでも経費削減出来るようおすすめします！

◆難防除雑草の防除に ザクサ液剤 大型規格品登場

【特長】

- スギナ、ツククサなど、ほとんどの雑草を枯らします。
- 早く枯らし、長く雑草の発生を抑えます。
- 有効成分のグリホシネートPは土壌中で速やかに分解されます。

・10a当たりの使用量 ⇒ 300～500cc
 ・使用時期 ⇒ 雑草生育期 播種・定植前又は畦間処理
 （作物に飛散しない様ご注意ください。）

甘藷、里芋、バレイショ、ごぼう等多くの作物での登録が有ります。その他の作物については、お問い合わせください。



※上記ノルチッソ・ザクサ液剤については、注文品になる可能性が有りますので、必要な場合は、事前にご連絡ください。また、価格については、平成26年3月現在です。4月以降は、消費税増税分値上がりしますので、ご注意ください。

（文書取扱：JA都城 営農企画室） 事務所の電話番号は38-6693です